

文化施設（劇場・音楽堂等）運営状況調査

（令和2年度実績等詳細）

目次

1	開館時期、設置者、運営方法の概要	1頁
2	指定管理者制度の状況	1頁
3	休館日・開閉館時間	3頁
4	施設区分ごとの稼働状況	5頁
5	ホール等の連続利用	6頁
6	令和2年度の休館日数	6頁
7	事業の実施状況	7頁
8	貸館事業	15頁
9	意見交換の場の設置状況	18頁
10	情報発信の取組	18頁
11	ボランティアとの連携	21頁
12	友の会との連携	22頁
13	施設運営に当たっての課題や他館と情報交換したい事項、 県の文化振興施策に対する意見等	22頁

※調査対象：66施設（うち回答があった63施設について集計）

1 開館時期、設置者、運営方法の概要

● 開館時期

1960～1970年	3
1971～1990年	25
1991～2010年	26
2011～2020年	9
総回答者数	63

● 設置者

県	6
市町村	57
その他	0
総回答者数	63

● 運営方法の概要

指定管理	34
直営（設置者が運営）	29
その他	0
総回答者数	63

2 指定管理制度の状況

(1) 指定管理者の種別

公益財団法人	20
一般財団法人	0
営利法人	6
NPO法人	0
その他（共同体等）	8
総回答者数	34

【補足】その他の概要（要約し抜粋）

民間企業による共同体、公益財団法人と舞台関係会社とのJV方式

(2) 指定管理者の選考方法

公募	19
非公募	15
総回答者数	34

(3) 指定管理期間

3年間	3
4年間	2
5年間	28
20年間	1
総回答者数	34

(4) 小規模修繕費用の負担

全て指定管理者の負担	1
指定管理者は負担していない	1
一部指定管理者の負担	29
その他	3
総回答者数	34

【補足】「一部指定管理者の負担」の場合の負担上限金額

【平均値】	1,231,034 円
【最大値】	14,000,000 円
【最小値】	100,000 円
	回答数
30万円未満	7
30万円以上～50万円未満	5
50万円以上～100万円未満	6
100万円以上～150万円未満	9
150万円以上	2
A 合計	29

【補足】その他の概要（抜粋）

- ・金額設定はなく協議による。
- ・契約書に負担の目安は記載されているが上限の定めはない。
- ・内容により市と指定管理者で振り分けて修繕している。

3 休館日・開閉館時間

(1) 休館日

ア 定休日

毎週固定（週1回）	42
毎週固定（週2回）	0
月1回（第3■曜日、毎月最終日等）	2
月2回（「第1・3の▲曜日」等）	10
定休日なし、不定休、その他	9
総回答者数	63

【休館日の曜日】 (回答数)

月曜日	42
火曜日	10
水曜日	1
木曜日	2

※金・土・日曜日を休みとする施設なし

イ 年末年始 ※年中無休：1

【いつから】

12月27日	1
12月28日	22
12月29日	39
総回答者数	62

【いつまで】

12月31日	1
1月3日	40
1月4日	20
1月5日	1
総回答者数	62

(2) 開閉館時間

【開館時間】の詳細

午前8時30分	8
午前9時00分	54
午前9時30分	1
総回答者数	63

【閉館時間】の詳細

午後5時	11
午後5時30分	1
午後9時	19
午後9時30分	14
午後10時	18
総回答者数	63

(3) 休館日・開閉館時間の例外対応等（抜粋）

夜間対応	30
早朝対応	17
休館日対応	11

【補足】夜間・早朝・休館日対応の条件（要約し抜粋）

- ・終日利用の延長に限る。延長料金が必要。
- ・割増料金を適用し貸出す。
- ・県・市と協議の上、開館を認められた場合にのみ休館日対応を行っている。
- ・やむを得ない場合、検討の上対応する。
- ・行政機関のみ休館日対応（選挙、健診事業、空散等）

●その他（抜粋）

- ・新型コロナウイルス感染症対策として閉館時間を変更する場合がある。

●休館日・開閉館時間等への来館者からの要望の有無

夜間対応	5
早朝対応	3
休館日対応	3
その他	1

【補足】その他の概要（抜粋）

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策等により臨時休館、時間短縮を行ったため、予約日、予約時間での利用を希望された団体があったが、十分説明をし、キャンセル利用料返還等の対応を行った。

4 施設区分ごとの稼働状況

施設区分	回答者数 (A)	利用可能日数の平均 (B)	稼働日数の平均 (C)	平均稼働率 (%) (C/B)	年間入場者数・参加者数 (観覧者、出演者等)			
					年間入場者数・参加者数の 合計(人) (D)	1施設当たりの平均 (D/A)	回答者の最大値	回答者の最小値
大ホール (1000席以上)	18	212.1	76.4	36.0	342,770	19,043	52,048	4,066
中ホール (500～1000席未満)	26	248.5	67.1	27.0	229,649	8,833	28,245	660
小ホール (500席未満)	33	245.7	91.2	37.1	239,675	7,263	29,288	101
会議室・研修室	36	548.3	405.4	73.9	364,242	10,118	34,630	195
ギャラリー等展示室	18	259.7	95.3	36.7	74,932	4,163	15,037	158
練習室・リハーサル室	27	410.4	238.1	58.0	107,173	3,969	11,619	94
その他の施設	23	349.2	216.0	61.9	230,554	10,024	81,006	16

※会議室・研修室等、同じ区分で複数の部屋がある場合は、各部屋の合計値が記入されるため、利用可能日数・稼働日数は365日を超える場合がある。

【補足】昨年度（令和元年度実績）との比較

施設区分	平均稼働率 (%)			年間入場者数・参加者数の合計 (人)		
	令和 2年度	令和 元年度	前年度 からの 増減	令和2年度	令和元年度	前年度から の増減
a. 大ホール (1000席以上)	36	68	△ 32	342,770	2,009,323	△ 1,666,553
b. 中ホール (500～1000席未満)	27	55	△ 28	229,649	1,096,831	△ 867,182
c. 小ホール (500席未満)	37	67	△ 30	239,675	963,300	△ 723,625
d. 会議室・研修室	74	79	△ 5	364,242	826,479	△ 462,237
e. ギャラリー等展示室	37	48	△ 11	74,932	197,079	△ 122,147
f. 練習室・リハーサル室	58	70	△ 12	107,173	307,243	△ 200,070
g. その他の施設	62	56	5	230,554	361,553	△ 130,999

5 ホール等の連続利用

連続利用日数	回答者数
2日間	3
3日間	13
4日間	1
5日間	20
6日間	3
7日間	4
14日間	1
上限なし	18
合計	63

6 令和2年度の休館日数

(1) 施設の改修等による休館

休館した施設数	休館しなかった施設数	年間の平均休館日数
11	52	124.3

(回答があった施設(63施設)のうち休館した割合) 17.5%

(2) 新型コロナウイルスの感染拡大による休館

休館した施設数	休館しなかった施設数	年間の平均休館日数
57	6	76.2

(回答があった施設(63施設)のうち休館した割合) 90.5%

(3) 展示替え、その他の要因による休館

休館した施設数	休館しなかった施設数	年間の平均休館日数
1	62	54

(回答があった施設(63施設)のうち休館した割合) 1.6%

7 事業の実施状況

(1) 類型別事業実施事業

ア 主催文化事業

【類型別】

	回答者数	63施設における割合 (%)	年間事業数 (件)	年間実施回 (回)	年間入場者数・参加者数 (観覧者、出演者等) (人)		
			合計件数	合計回数	合計人数	回答者の最大値	回答者の最小値
自主制作	28	44.4%	173	254	52,054	13,696	73
買取 (招へい事業)	19	30.2%	95	144	18,140	3,298	164
共催・提携	22	34.9%	70	70	19,942	5,117	65
合計	39	61.9%	338	468	90,069	-	-

※買取 (招へい事業) :外部のプロモーター/制作会社でパッケージ化された公演を買取し、主催した公演事業

※共催・提携:共催・後援等で参加している公演事業

※「自主・買取・共催・提携」各内訳が不明である施設については、合計数字を集計した

【ジャンル別】

	回答者数	63施設における割合 (%)	年間事業数 (件)	年間実施回数 (回)	年間入場者・参加者数 (観覧者、出演者等) (人)
音楽公演 (クラシック(オペラ含む))	30	47.6%	159	163	25,247
音楽公演 (ジャズ、ポップス(洋楽・邦楽))	26	41.3%	56	80	21,040
演劇公演	7	11.1%	9	8	2,374
舞踊公演	5	7.9%	8	26	588
伝統芸能公演	6	9.5%	16	26	5,613
演芸公演	15	23.8%	30	40	5,510
総合	5	7.9%	13	14	10,155
上記以外の文化芸能系公演	14	22.2%	30	75	16,826
文化芸能系以外の公演等	7	11.1%	12	15	2,716
合計	39	61.9%	333	447	90,069

※各ジャンルの具体例

音楽公演【クラシック(オペラ含む)】	オーケストラ、合唱・コーラス (テーマ・メインの曲目による)
音楽公演【ジャズ、ポップス(洋楽・邦楽)】	吹奏楽、合唱・コーラス (テーマ・メインの曲目による)
演劇公演	現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカル
舞踊公演	バレエ、現代舞踊、民族舞踊、その他ダンス
伝統芸能公演	能楽・狂言、人形浄瑠璃、歌舞伎
演芸公演	落語、講談、浪曲、漫才、奇術
総合	複数の上記ジャンル公演が組み合わされたフェスティバルや文化祭
上記以外の文化芸能系公演	映画上映、音楽ライブ中継、キャラクターショー、サーカス
文化芸能系以外の公演等	各種講演会、成人式等記念式典、説明会

イ 人材育成事業

類型	対象	回答者数	年間事業数(件)	年間実施回数(回)	年間入場者数・参加者数(観覧者、出演者等)(人)
自館で行うもの	アートマネジメント人材	3	3	3	278
	舞台技術者	1	1	1	9
	実演家	8	13	95	1,492
	ボランティア	3	3	3	25
	その他	1	1	1	27
	他施設・大学等との連携事業	1	2	16	10
	合計	13	23	119	1,841

【補足】類型について

自館で行うもの	人材育成をお目的とした養成講座、研修会、ワークショップ/レクチャー、研究会、コンクール字魚により、アートマネジメント人材や舞台技術者、実演家を養成する取組等の事業
アートマネジメント人材	実演団体・文化施設・鑑賞組織・支援団体等で、芸術文化の経営に携わる者
他施設・大学等との連携事業	他の劇場・音楽堂等や大学等教育機関との間で、研修生やインターンの実務を通じての研修事業（職員派遣や受入、指導職員の招へいや派遣等）

ウ 普及啓発事業

	回答者数	合計件数	合計回数	合計人数
ワークショップ	15	41	106	5,350
普及型公演	11	32	33	5,210
アウトリーチ	7	21	34	4,650
その他	11	18	169	869
合計	26	112	342	16,079

【補足】その他の概要

○施設見学・バックステージツアー ○狂言シンポジウム
 ○ピアノの開放 ○レセプションニスト講座
 ○ワークショップ・アウトリーチ共に市内小学校特別支援学級児童向けアート系ワークショップを実施（講師：NARAMIX（千葉市芸術文化新人賞受賞アーティスト））
 ○新型コロナウイルスの影響で活動の機会が減っているアーティスト（プロ・アマ問わず）に広いステージで楽器の演奏や練習等を楽しんでもらうためホールを無料で提供

※各類型の具体例

ワークショップ	施設内で実施される地域住民、青少年等を対象とした実演芸術の参加体験型講座
普及型公演	実演芸術に親しむ機会の少ない利用者を対象とした普及型の公演
アウトリーチ	施設が主催し、施設外で実施する事業（例：幼稚園・小学校・中学校等への実演芸術の出張公演や出張ワークショップ）
その他	（例：バックステージツアーや実現芸術の普及啓発のための講演会・シンポジウムなど）

【補足】主な内容（複数回答可）

	ワーク ショップ	普及型公演	アウト リーチ	合計
音楽公演【クラシック（オペラ含む）】	5	4	4	13
音楽公演【ジャズ、ポップス（洋楽・邦楽）】	3	3	0	6
演劇公演	2	1	0	3
舞踊公演	3	0	0	3
伝統芸能公演	1	2	2	5
演芸公演	2	0	2	4
総合	3	1	0	4
上記以外の文化芸能系公演	3	0	0	3
文化芸能系以外の公演等	3	1	1	5

(2) 「地域で活躍する、アーティスト・文化活動団体」がメインコンテンツに関わっている事業

	回答者数	年間事業数 (件)	年間実施 回数 (回)	年間入場者・参 加者数 (観覧 者、出演者等) (人)
主催文化事業 (自主 制作/買取など)	23	102	114	23, 205
人材育成事業	7	9	34	4, 027
普及啓発事業	10	19	122	4, 141
合計	28	130	270	31, 373

【補足】代表的な事業の内容 (抜粋)

施設名	内容
千葉県文化会館	千葉県青少年オーケストラ事業、オーケストラであそぼう! (幼稚園アウトリーチ)
青葉の森公園芸術文化ホール	La Dillコンサート、プロムナードコンサート、千葉のむかし話/こども語りべ、伝統芸能ワークショップ
千葉市若葉文化ホール	徳田雄一郎クリスマスコンサート (千葉市出身・第6回千葉市芸術文化新人賞受賞アーティスト)、特別支援学級サポートプログラム「バラスデ」講師: NARAMIX (第12回千葉市芸術文化新人賞受賞アーティスト)
千葉市美浜文化ホール	美浜コンサートシリーズ 千葉市芸術文化新人賞受賞者によるクラシックコンサート3公演 絵本朗読コンサート 同賞受賞者、ならびに県内出身の作曲家によるオリジナル作曲、千葉市出身の声優による絵本朗読コンサート1公演
市原市市民会館	市内アーティストによる公演事業「まちくる!」(年6回実施 新型コロナウイルスの影響により動画撮影・インターネット投稿形式にて実施)
習志野市習志野文化ホール	(公財) 千葉交響楽団
八千代市市民会館	市民文化団体「NPO法人子どもネット八千代」との共催事業として令和2年11月3日祝日18時開演 大ホールにて「JAZZ LIVE」実施
市川市文化会館	サポーター事業、ピアノ体験
市川市行徳公会堂	サポーター事業
浦安市民プラザ Wave101	市内出身・在住・在学等のアーティストを起用した公演を年10回程度開催。
浦安音楽ホール	ワンコインコンサート 年3回 浦安市にゆかりのある若手演奏家に演奏機会を与え、入場料500円で多くの市民にアピールする企画演奏会。
流山市文化会館	赤ちゃんが泣いても子どもが静かにしていられなくても構わない。誰でも楽しめる「子育てコンサート」を年2回開催している。
きらり鎌ヶ谷市民会館 キラリホール	地元の3つのダンスカンパニー (タップ・バレエ・ヒップホップ) との協働。ワークショップ後、公演。
成田国際文化会館	「HappyクローバーコンサートII」2021R.3.3.6(土)1回”音楽によってバリアフリーなコミュニケーションの輪を広げる”という理念で地域で活動される認定NPO法人「アミーチあんだんて」との協働事業で、子どもから高齢者、健常者から障がい者まで垣根なく楽しめる様に、フルート、オカリナ、ピアノ、合唱、和太鼓、二胡とバラエティーに富んだプログラムを披露した。
成田市文化芸術センター	市内出身アーティストによるコンサート「スカイタウンコンサートvol.15『新春コンサート～歌とハープの調べ』」、市内文化団体 (成田市華道協会、成田市書道協会、日本盆栽協会成田支部) の作品展示「新春書道・華道展 (盆栽展併催)」
多古町コミュニティプラザ文化ホール	小中学校音楽鑑賞教室 (年1回、小中学校を年ごとに交代で対象とする)
千葉県東総文化会館	知って!感じて!ホールのピアノ ～ピアノの魅力を発見しよう～
千葉県南総文化ホール	歌声喫茶ともしびin南総

(3) 「子ども・若者」が文化芸術に触れる機会を創出することを主な目的とした事業

※「子ども・若者」=当調査では「子ども」は18歳程度まで、「若者」は鑑賞者等としては20代半ば程度までを想定

	回答者数	年間事業数 (件)	年間実施回数 (回)	年間入場者・参加者数(観覧者、出演者等) (人)
主催文化事業(自主制作/買取など)	26	56	70	27,276
人材育成事業	7	8	71	299
普及啓発事業	16	40	146	6,627
合計	31	104	287	34,202

【補足】代表的な事業の内容(抜粋)

施設名	内容
千葉県文化会館	めざせ!文化芸術マスター(インターンシップ)
青葉の森公園芸術文化ホール	高校生バンドコンテスト
千葉市若葉文化ホール	特別支援学級サポートプログラム「パラステ」(毎年12~1月実施/市内小学校特別支援学級の児童に対し、アウトリーチにてアート系ワークショップを実施/2016年絵画・2018年シールアート・2019年和紙アート・2020年毛糸アート)
千葉市美浜文化ホール	アウトリーチでは千葉市内の小中学校などと協働して開催。(昨年度は収録配信にて実施。)公演への招待は、ホール独自の「美浜キッズサポート制度」(登録制)を用いて公演に招待。
市原市市民会館	夢の架け橋コンサート(市内学校(小中)の吹奏楽部・合唱部の音楽発表会。1回実施。) ICHIHARAダンスパフォーマンスステージ~絆~(市民と財団が協働して制作するダンスイベント。1回実施。)
八千代市市民会館	令和2年8月28日土曜14時 大ホールにて「バックステージツアー」実施
八千代市八千代台文化センター	令和2年8月28日土曜14時 大ホールにて「バックステージツアー」実施
市川市文化会館	ママも楽しい0歳からコンサート、ピアノ体験
市川市行徳公会堂	くるみ割り人形の世界を冒険しよう、ママも楽しい0歳からコンサート、おやこ寄席
浦安市文化会館	アウトリーチ活動
浦安音楽ホール	ソニー音楽財団による「CONCERT for KIDS」~0才からのクラシック~(親子向けに作られた親子で楽しめるコンサート)
野田市櫛のホール 小ホール	櫛のホール演劇祭り/高校生および、演劇部OBを中心とした演劇発表会
流山市文化会館	近隣高校の演劇部の協力を得て、障害のある方もない方も高校演劇を楽しめる「バリアフリー演劇鑑賞会」
きらり鎌ヶ谷市民会館 キラリホール	「さかなクン」の公演、バックステージツアー、落語ワークショップ
佐倉市民音楽ホール	親子でクリスマス・コンサート(2020年12月20日実施。1回公演。0才児から入場可能なクラシックコンサート)
成田国際文化会館	ヤングスペース事業「チャレンジ油絵道」(6月、2月の年2回各5回で構成。油絵の創作体験を通して、家庭や学校では得られない体験学習の機会を創造するもので、物をつぶさに観察し、自分の感情を油絵で表現するもの。)
成田市文化芸術センター	しげちゃん一座楽しい絵本ライブ(絵本の朗読を中心に、音楽の演奏、参加型ワークショップの開催)
プリミエール酒々井	自主事業であるオータムコンサート(小・中学生出演による吹奏楽の演奏会)(令和2年度は中止)
多古町コミュニティプラザ文化ホール	小中学校音楽鑑賞教室(年1回、小中学校を年ごとに交代で対象とする)
千葉県東総文化会館	伝統芸能体験講座 狂言をやってみよう!オーケストラとあそぼう!

【補足】「小・中・高等学校・大学等の教育機関」との連携状況

	回答者数	連携の相手方（複数回答可）			
		小学校	中学校	高等学校	大学
公演・イベントの実施・招待	18	10	6	6	0
アウトリーチ活動	10	7	1	0	0
ワークショップ、セミナー、教室、講座	12	8	3	2	0
インターン受け入れ	4	-	-	-	1
ボランティア募集	3	0	0	0	0
授業による来館対応	8	4	3	1	0
寄付・募金の依頼	4	0	1	0	0
協同事業・施設連携・組織連携	8	0	2	2	2
その他	4	1	0	0	0
合計	71	30	16	11	3

※遠足、修学旅行、職業体験等含む

※共同研究、展示・催事の共催等

小・中・高等学校、大学など教育機関と連携した事業を実施している施設数の総計 24

(参考) R元年度実績（総計） 31

7 (4) 「主催文化事業・人材育成事業・普及啓発事業」等の実施に当たっての課題

課題		総回答数	主催文化事業	人材養成事業	普及啓発事業	地域のアーティスト・団体 (※1)	子ども・若者の機会創出 (※2)
A	事業予算が確保できない	59	19	8	8	11	13
B	事業を企画・実施するための人材が不足している	59	13	9	12	14	11
C	長期的な視野に立った継続事業が実施できない	41	11	9	7	7	7
D	関係者が固定化し、新規参加が伸び悩んでいる	36	8	3	9	10	6
E	地域の文化活動団体との関係づくりがうまくできない	9	2	1	2	2	2
F	学校教育、福祉、観光等、他の分野・関連施設と連携が進まない	9	2	2	2	2	1
G	実演家・実演団体等とのネットワークがない	20	5	4	4	4	3
H	市民参画を推進したいが人材・ノウハウが不足している	23	5	5	5	3	5
I	事業の評価方法がわからない	25	6	4	5	5	5
J	その他	0	0	0	0	0	0
計		281	71	45	54	58	53

(※1) 「地域で活動するアーティスト・文化活動団体」がメインコンテンツに関わっている事業との連携

(※2) 子ども・若者が文化芸術に触れる機会を創出することを主な目的とした事業

【補足】「主催文化事業」「人材養成事業」「普及啓発事業」等の内容・実施方法等に対する来館者からの要望とその対策等

	総回答数	具体的内容・補足等	対策(予定)など
事業数の増加	2	地元の劇場で観覧の機会が増えるといい	○イベント会社との共催事業とし、経費面での負担を低減 ○開催本数を増やす。
特定のジャンルの事業の充実	1	歌舞伎公演を実施してほしい	予算的に不可能のため、実施予定なし
子ども向け事業の充実	3	子どもが廉価で楽しめる実施の充実	十分に対応できていると考えている。
		子育てをしているパパを対象としたセミナーを実施してほしいとの要望がある。	—
設備等の新調	4	プロの舞台芸術の鑑賞機会の確保	財政部局への予算要望
		トイレの改修、バリアフリー、座席の大きさ	大規模改修工事(令和5年度~令和6年度)
		空調機器の整備・防音仕様の強化向上	市への要望としている
その他	1	交通アクセス(臨時バスの運行)	—

7 (5) 「主催文化事業・人材育成事業・普及啓発事業」等を実施しない理由

「貸館事業のみ」行っている施設の数（未回答者除く）

⇒ 21 施設 (総回答数(63施設)に対する割合 33.3 %)

(「主催文化事業・人材養成事業・普及啓発事業」等に関する設問に回答が無かった施設)

【補足】事業ごとの回答数

実施していない理由 (複数回答可)	回答数	(内訳)				
		主催文化 事業	人材育成 事業	普及啓発 事業	地域のアーティスト・ 団体(※ ¹⁾)	子ども・若者の 機会創出(※ ²⁾)
A 事業予算が確保できない	21	5	4	4	4	4
B 事業を企画・実施するための人材が不足している	15	3	3	3	3	3
C 長期的な視野に立った継続事業が実施できない	13	2	3	3	3	2
D 関係者が固定化し、新規参加が伸び悩んでいる	3	1	0	1	1	0
E 地域の文化活動団体との関係づくりがうまくできない	8	1	1	1	3	2
F 学校教育、福祉、観光等、他の分野・関連施設と連携が進まない	4	1	0	1	1	1
G 実演家・実演団体等とのネットワークがない	12	2	3	2	3	2
H 市民参画を推進したいが人材・ノウハウが不足している	11	2	3	2	2	2
I 事業の評価方法がわからない	12	2	2	2	3	3
J その他	9	4	1	1	1	2

(※1) 「地域で活動するアーティスト・文化活動団体」がメインコンテンツに関わっている事業との連携

(※2) 子ども・若者が文化芸術に触れる機会を創出することを主な目的とした事業

8 貸館事業

(1) 貸館利用者の属性

	年間事業数 (件)				年間実施回数 (回)	
	回答者数	合計	(参考) 合計 令和元年度 実績	(参考) 令和 元年度から の 増減	回答者数	合計
アマチュア団体・個人 (芸術愛好家など)	39	6,355	23,856	△ 17,501	42	8,286
プロ文化芸術団体・個人 (芸術家など)	18	109	717	△ 608	18	124
一般企業・法人 (※芸術愛好家・芸術家以外の個人事業主等を含む)	38	3,839	7,909	△ 4,070	41	5,060
公的機関 (国・県・市町村及び出先機関)	39	1,502	5,945	△ 4,443	42	2,657
県内学校等教育機関	36	612	3,078	△ 2,466	39	818
県外学校等教育機関	6	21	76	△ 55	5	17
福祉・医療機関等	20	193	437	△ 244	21	255
政党・宗教団体等	21	132	554	△ 422	22	179
その他	31	11,553	3,417	8,136	34	12,900
合計	55	34,888	66,828	△ 31,940	57	41,453

※複数回答可のため、合計欄の「回答施設数」(55)は、実回答施設数を記載した。

※「貸館利用者の総数は把握しているが、属性詳細は把握していない」という施設が多く、回答者数の内訳欄と合計欄の差が大きく出ている

(参考) 属性詳細を把握していない施設数 17 (令和元年度実績) 18 (施設)

【補足】年間事業数(件)に係る合計欄について

回答者の内、最大数	4,856
回答者の内、最小数	4
A 1施設当たりの平均	634
B 令和元年度実績 1施設当たりの平均	1,193
⇒合計欄の令和元年度からの増減	-559

【補足】その他の概要(抜粋)

法人の健康診断等、私立幼稚園、安全運転管理者協議会、農業協同組合、複数の法人で構成される団体、任意団体等

(2) 貸館事業の内容

	年間事業数 (件)		年間実施回数 (回)	
	回答者数	合計	回答者数	合計
音楽公演【クラシック(オペラ含む)】	28	951	31	1,228
音楽公演【ジャズ、ポップス(洋楽・邦楽)】	25	238	25	282
演劇公演	17	64	19	96
舞踊公演	23	213	26	626
伝統芸能公演	9	33	9	33
演芸公演	12	28	12	34
総合	8	42	8	69
上記以外の文化芸能系公演	14	203	16	216
講演会、講習会、説明会等	42	4,354	44	5,176
式典(卒業・入社式等)	25	184	27	227
コンクール・コンテスト	13	72	14	93
音楽教室等の成果発表会	30	316	31	359
カラオケ等の発表会	9	21	9	23
練習利用(公演を伴わないもの)	37	3,873	38	5,097
ワークショップ、体験教室	9	69	11	173
その他	35	14,198	37	17,097
合計	55	34,799	58	41,986

※「回答者数」の「合計」は内訳の合計ではなく、「合計欄の回答者数」を示している

※「貸館事業の総数は把握しているが、内容詳細は把握していない」という施設が多く、回答者数の内訳欄と合計欄の差が大きく出ている

(参考) 内容詳細を把握していない施設数

16 (令和元年度実績)

18 施設)

(参考) 各ジャンルの具体例

音楽公演【クラシック(オペラ含む)】	オーケストラ、合唱・コーラス(テーマ・メインの曲目による)
音楽公演【ジャズ、ポップス(洋楽・邦楽)】	吹奏楽、合唱・コーラス(テーマ・メインの曲目による)
演劇公演	現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカル
舞踊公演	バレエ、現代舞踊、民族舞踊、その他ダンス
伝統芸能公演	能楽・狂言、人形浄瑠璃、歌舞伎
演芸公演	落語、講談、浪曲、漫才、奇術
総合	複数の上記ジャンル公演が組み合わせられたフェスティバルや文化祭
上記以外の文化芸能系公演	映画上映、音楽ライブ中継、キャラクターショー、サーカス

【補足】貸館事業の内容・実施方法等に対する来館者からの要望等（抜粋）

	回答者数	具体的な内容	対策（予定）など
設備の充実	6	ネット環境	—
		トレーニングジム機器新規導入	—
		ホール、会議室内に主催者用のWi-Fiの設置。令和3年3月ホール設置済、令和3年7月会議室予定。	—
		wifi環境の充実	検討中
		感染対策、AV機器の経年劣化、ギャラリー壁面の経年劣化	パネル型非接触式体温計の購入、AVワゴンの買い替え（県）、ギャラリー壁面の塗装塗り替え
使用料金の減免・減額	5	障がい者割引	—
		ホールのみ連続3日以上、平日で仕込み、リハーサル使用の場合30%割引、利用日の3ヶ月前から利用日の30日前まで使用内容に制限なく50%割引。平成26年12月から。	—
		感染拡大防止に伴う自主的中止の際の利用料返還、時間短縮に伴う減免	県の指示による利用料返還および時短短縮分の返還、また自主判断による返還も行う。
		教育上の目的により市内の小中学校（義務教育学校を含む。）、高等学校又は幼稚園が使用するとき。免除額は半額。	—
予約手続きの充実（先行予約・予約方法等）	4	チケット販売、施設予約においてPaypay払いを対応。令和2年8月から。チケット販売においては、従前よりクレジットカードも使用可能。	—
		手続きが複雑で手間が掛かる。簡略化して欲しい。	行政手続きのため、説明してご理解をお願いしている。簡略化できる範囲は行う予定。
		感染拡大防止に伴うキャンセル期間を短縮、当日キャンセル当日払いの希望	緊急事態宣言期間のキャンセル期間の緩和による当日キャンセルの可と利用の場合の当日支払い可。
		直前での予約	これまでは2カ月前までの予約だったが、空いていれば直前でも予約を受けることにした。
その他	2	収容定員の50%の定員削減に対して、当初は増員希望が多々あったが、感染拡大防止対策の優先を根気よく説明し納得してもらった	
		準備のため早朝（8時半）からの入館→開館時間直後からイベントを実施したい為、準備を早くやらせてほしいと要望がある場合は、職員は開館30分前に出勤しているので、委託業者の点検確認後、準備を可能としている。	

9 意見交換の場の設置状況（懇談会・談話会等）

※地域の住民・文化活動団体・芸術家との連携・協力を図ることを目的としたもの

	回答者数	(参考) 合計 令和元年度 実績	(参考) 令和 元年度から の増減
設けている	13	26	-13
設けていない	46	30	16
当施設以外が主催する意見交換の場がある	2	3	-1

【補足】「当施設以外が主催する意見交換の場」の概要（抜粋）

○県運営委員会委員に地域での活動団体代表等になって頂きご意見を伺っている ふるさと芸能発表会実行委員会	○伝統芸能保存団体連絡協議会
--	----------------

10 情報発信の取組

(1) 情報発信媒体

	回答者数
ホームページの開設・更新	49
SNSの活用	31
メールマガジンの発行	11
ポスター・チラシ等の作成・配布	42
学校や教員の会議等を訪問しての説明	4
情報誌の発行	29
新聞折込チラシやDMの活用	15
新聞広告・各種交通機関での広告（車内広告、駅構内広告等）	18
プレスへの広報依頼（新聞・雑誌、テレビ・ラジオへのプレスリリースによる掲載依頼）	20
その他	4

(2) 年間実施（更新・発行）回数及び発信相手方の規模

ア 年間実施（更新・発行）回数（回） ※概算

	回答者数	合計	回答者の 内、最大値
ホームページの開設・更新	49	2,290	529
SNSの活用	31	2,273	365
メールマガジンの発行	11	112	20
ポスター・チラシ等の作成・配布	42	526	50
学校や教員の会議等を訪問しての説明	4	12	5
情報誌の発行	29	234	12
新聞折込チラシやDMの活用	15	88	24
新聞広告・各種交通機関での広告（車内広告、駅構内広告等）	18	262	81
プレスへの広報依頼（新聞・雑誌、テレビ・ラジオへのプレスリリースによる掲載依頼）	20	232	80
その他	4	25	12

イ 1 回当たりの情報発信の相手方の規模 (人) ※概算

	回答者数	合計	回答者の内、最大値
ホームページの開設・更新	-	-	-
SNSの活用	21	15,264	2,120
メールマガジンの発行	10	17,259	7,000
ポスター・チラシ等の作成・配布	24	481,480	146,400
学校や教員の会議等を訪問しての説明	2	242	230
情報誌の発行	22	426,190	170,000
新聞折込チラシやDMの活用	11	443,000	170,000
新聞広告・各種交通機関での広告(車内広告、駅構内広告等)	-	-	-
プレスへの広報依頼(新聞・雑誌、テレビ・ラジオへのプレスリリースによる掲載依頼)	-	-	-
その他	1	88,000	-

※情報発信の回数について無回答の施設があったため、回答者数は「(1) 情報発信媒体」の回答者数と一致しない。

(3) 発信している主な情報の属性(最大2つまで)

	主催文化事業	人材育成事業	普及啓発事業	貸館事業	自館を拠点に活動している文化活動団体のお知らせ	その他
ホームページの開設・更新	41	4	6	20	2	6
SNSの活用	29	3	7	5	0	3
メールマガジンの発行	10	0	1	1	0	2
ポスター・チラシ等の作成・配布	38	4	7	4	0	1
学校や教員の会議等を訪問しての説明	2	0	0	0	0	1
情報誌の発行	25	4	3	15	3	0
新聞折込チラシやDMの活用	13	2	3	4	0	0
新聞広告・各種交通機関での広告	18	0	6	0	0	0
プレスへの広報依頼	19	0	6	0	0	0
その他	3	0	0	0	0	0
合計	198	17	39	49	5	13

(4) 情報発信の主な相手方の属性（最大2つまで）

	地域の 小学校	地域の 中学校	地域の 高等学校	地域の 大学	過去の 主催文 化事業 の 来館者	過去の 人材養 成事業 の 来館者	過去の 普及啓 発事業 の 来館者	過去の 貸館 利用者	地域の アー ティスト	地域の 文化活 動 団体	友の会 会員	その他
ホームページの開設・更新	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SNSの活用	0	0	0	0	6	0	0	3	0	0	0	17
メールマガジンの発行	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	4	5
ポスター・チラシ等の作成・配布	7	4	0	0	8	0	0	2	0	3	6	18
学校や教員の会議等を訪問しての 説明	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情報誌の発行	1	1	0	0	3	0	0	1	0	1	12	17
新聞折込チラシやDMの活用	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	2	9
新聞広告・各種交通機関での広告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
プレスへの広報依頼	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
合計	9	7	2	0	24	0	1	6	0	4	24	66

【参考】「その他」回答の補足事項（抜粋）

令和2年度は感染拡大防止対策のため自主企画イベントを中止したため広報等は行わなかった
自治体広報紙への掲載

(5) 特に有効であると感じている情報発信の取組（抜粋）

取組内容の概要	備考
SNS (Facebook・Twitter)	—
ダイレクトメール	—
ホームページによる情報発信	素早く情報発信でき、また、コロナ禍でインターネットに触れる機会が増えている為、情報発信として有効である。
ポスター・チラシの作成・配布	市内在住者や在勤者等を対象にした事業は自治体広報紙やチラシが有効である。
月間情報誌の発行	HP、館内掲示/配布他、自治会回覧、市内掲示板掲出
自治体発行広報誌への掲載	—
市内小・中学校へのチラシ配布	—
情報サイトの活用	—
新聞・雑誌への広告掲載	市民対象
地元の「ちいき新聞」への広告掲載	ポスティングによる配布なので、新聞を取っていない方にも伝わる。

11 ボランティアとの連携

連携している	24
連携していない	39
合計	63

(1) 有償・無償の別

有償	4
無償	19
その他	0

【参考】回答の補足事項、その他の概要等（抜粋）

・交通費は負担
 ・PC講座と兼務
 ・令和2年度については、自主事業が中止になったものが多く、ボランティアの活用はなかった。

(2) 活動状況（複数回答可）

恒常的に活動	4
事業毎に活動	18
その他	3

【補足】その他の概要（抜粋）

・依頼した事業のみ
 ・会場設営等
 ・コロナウイルスの関係で活動していない

(3) 登録人数（令和2年度末時点）

人数登録のある施設	18
平均人数	28
回答者の内、最大人数	90

(4) 活動内容（複数回答）

A 舞台・音響・照明等の技術サポート	7
B 衣裳・大道具・小道具等の製作サポート	1
C 来館者接遇(障害者の介添え等)	3
D 来館者接遇(外国人への対応等)	0
E 来館者接遇(その他)	16
F 託児	0
G 事業企画・制作への参加	7
H 広報・宣伝、友の会等の業務、記録(動画・)	5
I 環境保全(館内外の清掃、館内美化等)	0
J 事務	0
K その他	4

【補足】その他の概要（抜粋）

・図書の整理、パソコン実習室利用者にパソコン操作等の支援
 ・図書室スタッフ
 ・本の読み聞かせボランティア
 ・会場設営等

(5) 連携に当たっての課題

A ボランティアの確保	14
B 具体的な活動内容	3
C マニュアルの作成	5
D 研修の内容、時間	5
E 担当職員の配置	5
F 特定組織、人材への依存	2
G 役割分担、リーダーの選定	3
H メンバーの固定化	14
I その他(ボランティアの高齢化等)	2

12 友の会との連携

友の会と連携している	19
友の会と連携していない	44
合計	63

(1) 有償・無償の別（年会費）

	施設数	平均 年会費（円）
有償	16	1293.75
無償	3	

(2) 会員人数（令和2年度末時点）

回答施設数	17
平均会員人数	558
回答者の内、最大人数	1323

（参考）

友の会人数	0-49	50-99	100-499	500-999	1000-
施設数	1	0	8	6	2

(3) 会員特典（複数回答）

A チケットの先行申込み	15
B チケットの割引	16
C 会報	16
D メールマガジン	8
E DM、チラシの送付	11
F レストラン、カフェでの割引	1
G 会員のための催し（イベント等）	6
H その他（月々の催物案内、チケット販売状況等）	1

(4) 連携に当たっての課題

A 会員の確保	12
B 会員の固定化	8
C 特典内容	10
D 個人情報の保護	1
E 担当職員の配置	1
F 会員の高齢化	3
G その他	0

13 施設運営に当たっての課題や他館と情報交換したい事項、県の文化振興施策に対する意見等

○昨年度と同様に現在に至るまで、新型コロナウイルス感染拡大防止をしつつ、公共福祉に資するための共生と活動推進について、他の施設と協力しながら推し進めていくための情報交換や交流の機会がほしい。

○建設後36年を経過し、施設の老朽化が著しいが、原状回復（適正な時期の改修）するための事業について交付金等の措置がない。全額単費での実施となり、適正な管理運営が難しいためハード面への検討要望をお願いしたい。